

高専番号：国01

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：新学科の設置

注1

事前伺い

函館工業高等専門学校 生産システム工学科、物質環境工学科、社会基盤工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

独立行政法人 国立高等専門学校機構
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 函館工業高等専門学校総務課

職名・氏名 ソウムカチョウ アイ ウチ セイ ヤ
総務課長 相 内 征 也

電話番号 0138-59-6311

（夜間） 080-5455-8818

F A X 0138-59-6310

e-mail sokacho@hakodate-ct.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

<生産システム工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	16
7. その他全般的事項	17

<物質環境工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	19
2. 授業科目の概要	23
3. 施設・設備の整備状況、経費	28
4. 既設大学等の状況	29
5. 教員組織の状況	30
6. 留意事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

<社会基盤工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	35
2. 授業科目の概要	39
3. 施設・設備の整備状況、経費	44
4. 既設大学等の状況	45
5. 教員組織の状況	46
6. 留意事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

目次

<一般科目>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	51
2. 授業科目の概要	55
3. 施設・設備の整備状況、経費	60
4. 既設大学等の状況	61
5. 教員組織の状況	62
6. 留意事項等に対する履行状況等	64
7. その他全般的事項	65

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高等専門学校名

函館工業高等専門学校

(3) 高等専門学校の位置

〒042-8501
北海道函館市戸倉町14番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

<生産システム工学科>

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生産システム工学科 準学士 (工学)	5 年	120 人	--- 年次 人	600 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 --- 120 (---) [---]	人 --- 120 (---) [---]	人 --- 120 (---) [---]	人 --- 120 (---) [---]	人 --- 120 (---) [若干名]	人 --- 120 (---) [若干名]	人 --- 120 (---) [若干名]	人 --- 120 (---) [若干名]	人 --- 120 (---) [若干名]	人 --- 120 (---) [若干名]	0.99倍	----
志願者数	227 (---) [---]	--- (---) [---]	231 (---) [---]	--- (---) [---]	203 (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]		
受験者数	216 (---) [---]	--- (---) [---]	230 (---) [---]	--- (---) [---]	202 (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]		
合格者数	207 (---) [---]	--- (---) [---]	212 (---) []	--- (---) [---]	182 (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]		
B 入学者数	123 (---) [---]	--- (---) [---]	127 (---) [---]	--- (---) [---]	109 (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]	--- (---) [---]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.05		0.90							

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学 (「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学) のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

<生産システム工学科>

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[---] (---) 123	[---] (---) ---	[---] (1) 128	[---] (---) ---	[---] (1) 110	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[---] (---) 118	[---] (---) ---	[---] (3) 123	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			[---] (---) 112	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
4 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					
5 年次			[] ()	[] ()							
計			[---] (0) 123	[---] (1) 246	[---] (4) 345	[] ()	[] ()				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

<生産システム工学科>

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	123 人	4 人	平成25年度	0 人	0 人	他の教育機関への転学(4名)	0 %
			平成26年度	4 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	127 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	109 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	359 人	4 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2. 授業科目の概要

<生産システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科共通科目 (必修)	工学基礎実験	1通	2			4	3			1		兼8
	工学リテラシー	1通	2			4	2					兼7
	プログラミング入門	1通	2			3	2			3		
	情報処理基礎	1通	2									兼1
	センシング演習基礎	2後	1				2					
	力学基礎	2後	1							1		
	工業力学基礎	2後	1			1	1			1		
	電気磁気学基礎	2前	1			1	2			1		
	電気回路基礎	2前	1			1				1		
	プログラミング基礎	2通	2			1	5			2		
	生産システム実習基礎	2前	2			4	3			2		
	生産システム創造実験Ⅰ	3後	2			2	3			1		
	情報ネットワーク基礎	3通	2			1	1			1		
	論理回路	3通	2				2			1		
	生産システム創造実験Ⅱ	4後	2			5						兼1
	制御工学Ⅰ	4後	1			1						
	システム工学	5前	1			2				1		
	ヒューマンインターフェースⅠ	5前	1				1					
	生産システム管理経営概論	5後	1									兼1
	科学技術英語	5前	1			1	2					
技術者倫理	5後	1			3							
機械コース	機械工作法 機械工作法Ⅰ	2通 2後	1			1						効果的な教授を行うため、 学修内容を分けたことによる 科目名称の変更 (H27.4.1)
	機械工作法 機械工作法Ⅱ	3前	1			1						効果的な教授を行うため、 学修内容を分けたことによる 科目名称及び配当年度の 変更(H27.4.1)
	機械工作実習Ⅰ	2後	2				1					
	要素製図	2前	1				1					
	工業力学	3前	1			1						
	設計製図Ⅰ	3後	2			1						
	機械設計法Ⅰ	3前	2			1				1		
	材料力学Ⅰ	3後	1				1					
	機械工作実習Ⅱ	3前	2			1						
	機構学	4通	2			1						
	材料学Ⅰ	4通	2				1					
	流体力学	4前	1			1						
	熱力学Ⅰ	4後	1				1					
	設計製図Ⅱ	4通	2							1		
	機械工学実験Ⅰ	4前	2			1	2			1		
	応用数学A	4通	2									兼1
	応用物理	4後	1									兼1
	材料力学Ⅱ	4通	2				1					
	機械設計法Ⅱ	5前	1			1						
	材料試験法	5通	2				1					
機械力学	5後	1							1			
制御工学ⅡA	5前	1			1							
電気磁気学Ⅰ	2後	1				1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース別必修科目	電気電子コース	電気回路Ⅰ	2後	1			1					
		電気電子工学基礎実験Ⅰ	2後	2				2		1		
		電気電子計測Ⅰ	3後	1			1					
		電気磁気学Ⅱ	3通	2				1				
		電気回路Ⅱ	3通	2			1					
		電子回路Ⅰ	3後	1			1					
		電子工学Ⅰ	3前	1				1				
		電気電子工学基礎実験Ⅱ	3前	2			1	1		1		
		デジタル回路	4前	1						1		
		電気回路Ⅲ	4通	2			1					
		電気電子計測Ⅱ	4前	1				1				
		応用プログラミングB	4後	1						1		
		電気回路Ⅳ	4通	2			1					
		電子回路Ⅲ	4通	2			1					
		電気電子材料	4通	2				1				
		電気エネルギー発生	4前	1				1				
		電気機器Ⅰ	4前	2				1				
		電気電子数学Ⅰ	4前	1			1					
		パワーエレクトロニクス	5前	1				1				
		電気電子応用	5後	1				1				
制御工学ⅡB	5通	2			1							
電気電子数学Ⅱ	5前	1			1							
情報コース	情報コース	情報工学実験Ⅰ	2後	2			1	3		2		
		コンピュータアーキテクチャ	2通	2				1				
		情報工学実験Ⅱ	3通	3				3				
		アルゴリズムとデータ構造	3通	2				1				
		確率・統計	3通	2						1		
		応用プログラミングA	3通	2				1				
		情報工学実験Ⅲ	4前	2				1				
		応用数学B	4通	2								兼1
		オートマトン	4通	2								兼1
		論理と計算理論	4前	1								兼1
		ソフトウェア工学	4通	2								
		信号処理	4通	2				1				
		情報ネットワーク	4通	2				1				
		情報数学	4通	2								兼1
		ソフトウェア開発演習	5前	2				1				
		オペレーティングシステム	5通	2				1				
		数値解析	5後	1				1				
		4通 電気制御	4通	2			1				効果的な教授を行うため、 科目(電気工学I及びII)を 統合したことによる科目名 称の変更(H26.4.1)	
		4後 電気工学II	4後	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	設計加工履修コース	CAD演習 CAD/CAM/CAE I	5後 4通	2			1						効果的な教授を行うため、 科目(CAD演習)を分けた ことによる科目名称及び配 当年度の変更(H26.4.1)	
		精密加工学	4後	2			2							
		情報処理	4前	2			1							
		計測工学	5前	2						1				
		卒業研究(設計加工履修コース)	5通	8				4	5		1			
		機械工学実験Ⅱ	5前	2					1					
		学外実習(設計加工履修コース)	4通		1				1					
	エネルギー履修コース	伝熱工学	4後		1	い ず れ か 6 単 位 以 上 を 選 択		1					効果的な教授を行うため、 科目(CAD演習)を分けた ことによる科目名称の変更 (H26.4.1)	
		内燃機関	4後		1			1						
		流体機械	4後		2			1						
		熱力学Ⅱ	5前		2				1					
		材料学Ⅱ	5前		2				1					
		CAD演習 CAD/CAM/CAEⅡ	5後		3				1					
		学外実習(エネルギー履修コース)	4通		1				1					
	エネルギー履修コース	エネルギー基礎実験	4後	2			1	1					効果的な教授を行うため、 科目を追加	
		機械電気エネルギー変換	4後	2			1							
		エネルギーと資源	5前	2			1				2			
		卒業研究(エネルギー履修コース)	5通	8			8	1						
		エネルギー応用実験	5前	2			1	1						
		電気エネルギー基礎	4前		2		1							
		機械エネルギー基礎	4前		2		1							
		学外実習(エネルギー履修コース)	4通		1			1						
		伝熱工学	4後		1	計 8 単 位 以 上 を 選 択		1						
		内燃機関	4後		1			1						
		流体機械	4後		2			1						
		電気機器Ⅱ	4後		2			1						
		電気エネルギー輸送	4前		2				1					
エネルギー材料		4前		1			1							
エネルギー教育活動実習		4・5通		1				1						
熱力学Ⅱ		5前		2				1						
流体力学Ⅱ	5前		2			1								
熱エネルギー変換工学	5後		1			1								
高電圧プラズマ	5前		1						兼1					
電気法規	5前		1			1								
エネルギーシステム	5前		2			1								
エネルギー応用	5前		2			1								
電気製図・CAD	5後		2			1	1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
回路エレクトロニクス履修コース	CAD・回路シミュレーション	4後	2			1					兼2	
	エレクトロニクス基礎実験	4後		2			1					
	電子工学Ⅱ	4前	2			1	1					
	信号処理基礎	4前		2			1					
	卒業研究(回路エレクトロニクス履修コース)	5通	8			8	1		3			
	エレクトロニクス応用実験	5前	2			2	1					
	情報通信工学	5前	2			1						
	電子回路Ⅲ	5前	2			1						
	電磁気学概論	4前		2			1					
	電気回路概論	4前		2			1					
	電子回路概論	4前		2		1						
	応用計測回路設計製作	4後		2	電気電子系は、計4単位以上を選択		1					
	応用電子回路設計製作	4後		2			1					
	学外実習(回路エレクトロニクス履修コース)	4通		1			1					
	論理設計	4通		2			1					
	モデルベース開発	5通		2			1					
	デジタル信号処理	5前		2			1					
	計測システム工学	5前		2			1					
	電磁波工学	5前		2			1					
	IT・ソフトウェア履修コース	情報工学実験Ⅳ	4後	2					1			
情報理論		4後	1							1		
プログラミング言語論		4後	1									
コンピュータ工学		4通	2			1						
オブジェクト指向プログラミング		4通	2				1					
卒業研究(IT・ソフトウェア履修コース)		5通	8			4	5		2			
情報工学実験Ⅴ		5前	2			2	1		1			
学外実習(IT・ソフトウェア履修コース)		4通		1	第4学年に2〜3単位、第5学年に5〜6単位、計8単位以上を選択		1					
Webシステム		4通		2					1			
論理設計		4通		2				1				
ヒューマンインタフェースⅡ		5後		1			1					
セキュリティ		5前		1			1					
画像処理		5前		2					1			
モデルベース開発		5通		2			1					
符号理論	5前		1						1			
データベース	5通		2			1						
ロボティクス履修コース	ロボティクス実験	4後	2			2	3		1		機械コース以外必修 機械コース以外必修 電気電子コース以外必修 電気電子コース以外必修 情報コース以外必修 情報コース以外必修 機械コースは必修 情報コースは必修 電気電子コースは必修	
	マイクロコントローラ	5通	2				1					
	医用福祉工学概論	5通	2				1					
	ロボット工学	5通	2				1					
	卒業制作(ロボティクス履修コース)	5前	4			1	2					
	卒業研究(ロボティクス履修コース)	5後	4			12	15		4			
	機械設計	4前		2			1					
	機構学概論	4前		2		1						
	電気回路概論	4前		2		1						
	電子回路概論	4前		2		1						
	信号処理	4前		2	コース別必修を含めて2単位以上修得		1					
	ソフトウェア工学概論	4前		2			1					
	材料学Ⅱ	5前		2			1					
	制御工学ⅡB	5通		2			1					
	電子回路Ⅲ	5前		2			1					
学外実習(ロボティクス履修コース)	4通		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバルマネジメント履修コース	応用物理特講 I	4通	2								兼3	効果的な教授を行うため、科目を追加
	応用化学特講 I	4通	2								兼1	
	Engineering English I	4通	2								兼1	
	応用数学特講	5通	2								兼1	
	Engineering English II	5通	2								兼1	
	卒業研究(グローバルマネジメント履修コース)	5通	4			12	15		4			
	学外実習(グローバルマネジメント履修コース)	4通		1			1					
	熱力学II	5前		2	機械コースは、6単位以上を選択		1					
	材料学II	5前		2			1					
	CAD演習 CAD/CAM/CAE II	5後		3			1					
	流体力学II	5前		2		1						
	熱エネルギー変換工学	5後		1			1					
	エネルギー基礎実験	4通	2			1	1					効果的な教授を行うため、科目を追加
	電気機器II	4後		2		1					電気電子コースは、上段または下段のどちらかの科目を2単位、選択科目を4単位以上を修得	
	電気エネルギー輸送	4前		2			1					
	高電圧プラズマ	5前		1								
	電気法規	5前		1			1					
	エネルギーシステム	5前		2		1						
	エネルギー応用	5前		2		1						
	電気製図・CAD	5通		2		1	1					
	エレクトロニクス基礎実験	4後		2			1				効果的な教授を行うため、科目を追加	
	CAD・回路シミュレーション	4後		2			1					
	電子工学II	4前		2			1	1				
	信号処理基礎	4前		2				1				
	応用電子回路設計製作	4後		2				1				
	応用計測回路設計製作	4後		2				1				
	論理設計	4通		2				1				
	情報通信工学	5前		2			1					
	モデルベース開発	5通		2			1					
	デジタル信号処理	5前		2				1				
	電磁波工学	5前		2			1					
	電子回路III	5前		2			1					
計測システム工学	5前		2				1					
データベース	5通		2	情報コースは、6単位を修得		1						
符号理論	5前		1						1			
画像処理	5前		2						1			
セキュリティ	5前		1			1						
技術者教育実践 I	4通				1	1					一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)	
技術者教育実践 II	5通				1	1					一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)	
応用物理特講 II	5通				2	1					一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)	
応用化学特講 II	5通				2	1					一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)	

2 授業科目の概要

(2) 授業科目数

<生産システム工学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	※科目の新規設定 【必修】+1（エネルギー基礎実験） 【必修】+1（機械工作法⇒機械工作法Ⅰ，機械工作法Ⅱ）削除 ※科目の分割による 【必修】△1（電気工学Ⅰ，電気工学Ⅱ⇒電気制御） ※科目の新規設定 【選択】+15（エネルギー材料，学外実習，CAD・回路シミュレーション，電子工学Ⅱ，信号処理基礎，応用電子回路設計製作，応用計測回路設計製作，論理設計，情報通信工学，モデルベース開発，デジタル信号処理，電磁波工学，電子回路Ⅲ，計測システム工学，エレクトロニクス基礎実験） ※科目の分割による 【選択】+1（CAD演習⇒CAD/CAM/CAEⅠ，CAD/CAM/CAEⅡ） ※一般科目から専門科目へ変更 【自由】+4（技術者教育実践Ⅰ・Ⅱ，応用物理特講Ⅱ，応用化学特講Ⅱ）
121	70	0	191	122	86	4	212	
				[+1]	[+16]	[+4]	[+21]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，[] 内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生産システム工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
12	15	0	4	31	10	15	0	5	30	63	2		
(10)	(17)	(0)	(5)	(32)	[△2]	[]	[]	[+1]	[△1]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<生産システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - b 公表方法
- ③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年7月1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高等専門学校名

函館工業高等専門学校

(3) 高等専門学校の位置

〒042-8501
北海道函館市戸倉町14番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

<物質環境工学科>

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
物質環境工学科 準学士 (工学)	5年	40人	---年次 人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 40 (---) [---]	--- (---) [---]	人 40 (---) [---]	--- (---) [---]	人 40 (---) [若干名]	--- (---) [---]	人 ---	---	人 ---	---	0.85倍	----
志願者数	93 (---) [---]	--- (---) [---]	83 (---) [---]	--- (---) [---]	60 (---) [2] [---]	--- (---) [---]	---	---	---	---		
受験者数	86 (---) [---]	--- (---) [---]	83 (---) [---]	--- (---) [---]	60 (---) [2] [---]	--- (---) [---]	---	---	---	---		
合格者数	84 (---) [---]	--- (---) [---]	79 (---) [---]	--- (---) [---]	53 (---) [2] [---]	--- (---) [---]	---	---	---	---		
B 入学者数	35 (---) [---]	--- (---) [---]	38 (---) [---]	--- (---) [---]	30 (---) [2] [---]	--- (---) [---]	---	---	---	---		
入学定員超過率 B/A	0.87		0.95		0.75							

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学 (「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学) のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[---] (---) 35	[---] (---) ---	[---] (0) 38	[---] (---) ---	[---] (0) 28	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次			[---] (---) 29	[---] (---) ---	[---] (0) 44	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[2] (---) 29	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
5 年次								[] ()	[] ()	[] ()	
計	[---] (0) 35	[---] (0) ---	[---] (0) 67	[---] (---) ---	[2] (0) 101	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

<物質環境工学科>

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	35 人	1 人	平成25年度	0 人	0 人	家庭の事情(1名)	0 %
			平成26年度	1 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	38 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	30 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	103 人	1 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2. 授業科目の概要

<物質環境工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 共 通 科 目 (必 須)	工学基礎実験	1通	2			2	2			1		兼12
	工学リテラシー	1通	2			2						兼11
	プログラミング入門	1通	2							1		
	情報処理基礎	1通	2									兼1
	情報処理 I	2後	1				1					
	無機化学	2通	2			1						
	分析化学	2通	2			1						
	物質工学実験 I	2前	2			1				1		
	化学演習	2前	1				1					
	基礎有機化学演習	2後	1							1		
	基礎PBL実験	2前	2			2	2			1		
	生物工学入門	2後	1			1						
	材料工学入門	2前	1			1						
	応用物理 I	3通	2									兼1
	有機化学 I	3通	2				1					
	物理化学 I	3通	2			1						
	化学工学 I	3通	2				1					
	生化学	3通	2			1						
	物質工学実験II	3前	2			1				1		
	物質工学実験III	3後	2				1			1		
	技術論文技法	3前	1									兼1
	応用数学 I	4通	2									兼1
	応用物理 II	4前	1									兼1
	情報処理 II	4後	1				1					
	有機化学 II	4通	2				1					
	物理化学 II	4通	2			1						
	化学工学 II	4通	2				1					
	無機工業化学	4通	2			1						
	農芸化学	4後	1							1		
	地球環境科学	4前	1							1		
	高分子化学	4通	2				1					
	機器分析	4前	2				1	3				兼1
化学英語	4通	2				1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	技術者教育	4前	1				1						
	応用数学Ⅱ	5前	1								兼1		
	物理化学Ⅲ	5前	1			1							
	有機工業化学	5通	2			1							
	農業環境アセスメント	5前	2						1				
	農業経済入門	5前	2						1				
	食品衛生学	5後	2								兼1		
	材 料 物 性 履 修 コ ー ス	卒業研究(材料物性履修コース)	5通	8			4	4		3			
		無機材料工学	4前	2			1						
		有機材料工学Ⅰ	4後	2				1					
		マテリアル工学実験(PBL含)	4後	2			1						
		有機材料工学Ⅱ	5前	2				1					
		金属材料工学	5前	2			1						
		無機構造化学	5後	2			1						
		材料物性工学実験	5前	2				2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目	バイオ環境履修コース	卒業研究(バイオ環境履修コース)	5通	8			4	4		3		
		生物化学	4前	2								兼1
		環境工学 I	4後	2				1				
		バイオ工学実験(PBL含)	4後	2			1					兼1
		環境工学 II	5前	2				1				
		分子生物学	5前	2								兼1
		環境工学実験	5前	2				1		1		
	応用微生物化学	5後	2			1						
	グローバルマネジメント履修コース必修科目	Engineering English I	4通	2								兼1
		応用物理特講 I	4通	2								兼3
		応用化学特講 I	4通	2			1					
		Engineering English II	5通	2								兼1
		応用数学特講	5通	2								兼1
	卒業研究(グローバルマネジメント履修コース)	5通	4			4	4		3			
材料・物性バイオ環境履修コース	計算科学	5前		1	目1才 単れ 位か 修1 得科		1					
	生体触媒工学	5後		1			1					
	学外実習	4通		1			1					
グローバルマネジメント履修コース	金属材料工学	5前	2			1					効果的な教授を行うため、科目を追加 上段または下段のどちらかの科目 群を選択し、3科目6単位修得	
	材料物性工学実験	5前	2				2					
	無機構造化学	5後	2			1						
	分子生物学	5前	2								兼1	
	環境工学実験	5前	2				1		1			
	応用微生物化学	5後	2			1						
	技術者教育実践 I	4通				1	1					一般科目から専門科目(自由)へ 配当を変更(H26.4.1)
技術者教育実践 II	5通				1	1					一般科目から専門科目(自由)へ 配当を変更(H26.4.1)	
応用物理特講 II	5通				2	1					一般科目から専門科目(自由)へ 配当を変更(H26.4.1)	
応用化学特講 II	5通				2	1					一般科目から専門科目(自由)へ 配当を変更(H26.4.1)	

2 授業科目の概要

(2) 授業科目数

<物質環境工学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	※科目の新規設定 [必修]+6 (金属材料工学, 材料物性工学実験, 無機構造化学, 分子生物学, 環境工学実験, 応用微生物化学) ※一般科目から専門科目へ変更 [自由]+4 (技術者教育実践Ⅰ・Ⅱ, 応用物理特講Ⅱ, 応用化学特講Ⅱ) [自由]+4 (ボランティア活動, 特別研修)
62	3	0	65	68	3	4	75	
				[+6]	[0]	[+4]	[+10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		m ²	m ²	m ²	m ²		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
				室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称											備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 度	設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍					

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（A C対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<物質環境工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5	4	0	2	11	4	4	0	3	11	63	0		
(4)	(4)	(0)	(3)	(11)	[△1]	[]	[]	[+1]	[]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<物質環境工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - b 公表方法
- ③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年7月1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高等専門学校名

函館工業高等専門学校

(3) 高等専門学校の位置

〒042-8501
北海道函館市戸倉町14番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

<社会基盤工学科>

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会基盤工学科 準学士 (工学)	5年	40人	---年次	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 (---) [---]	---	40 (---) [---]	---	40 (---) [若干名]	---	---	---	---	---	0.85倍	----
志願者数	46 (---) [---]	---	60 (---) []	---	74 (---) [1]	---	---	---	---	---		
受験者数	43 (---) [---]	---	60 (---) []	---	74 (---) [1]	---	---	---	---	---		
合格者数	40 (---) [---]	---	52 (---) []	---	65 (---) [1]	---	---	---	---	---		
B 入学者数	35 (---) [---]	---	34 (---) []	---	34 (---) [1]	---	---	---	---	---		
入学定員超過率 B/A	0.87		0.85		0.85							

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学 (「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学) のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[---] (---) 35	[---] (---) ---	[---] (2) 36	[---] (---) ---	[---] (0) 33	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[---] (---) 43	[---] (---) ---	[---] (1) 36	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			[1] (---) 44	[---] (---) ---	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
4 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					
5 年次			[] ()	[] ()							
計			[---] (0) 35	[---] (2) 79	[1] (1) 113	[] ()	[] ()				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

<社会基盤工学科>

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	35 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	34 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	34 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	103 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2. 授業科目の概要

<社会基盤工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学科共通科目 (必須)	工学基礎実験	1通	2			3	1				兼12
	工学リテラシー	1通	2			1	4				兼8
	プログラミング入門	1通	2				1				
	情報処理基礎	1通	2								兼1
	水理学Ⅰ	2後	1			1					
	構造力学Ⅰ	2通	2			1					
	コンクリート工学	2前	1			1					
	コンクリート構造学Ⅰ	2後	1			1					
	情報処理Ⅰ	2通	2				1		1		
	地球科学	2通	2						1		
	測量学・測量実習Ⅰ	2通	2				1		1		
	構造力学Ⅱ	3通	2			1					
	水理学Ⅱ	3通	2				1				
	土質工学	3通	2						1		
	コンクリート構造学Ⅱ	3通	2			1					
	情報処理Ⅱ	3通	2				1		1		
	創造デザイン	2前	2				2				
	建設CAD・図学	3通	2			1	1				
	測量学・測量実習Ⅱ	3通	2				1		1		
	応用物理	4前	2								兼1
	応用数学Ⅰ	4通	2								兼1
	構造力学Ⅲ	4通	2			1					
	水理学Ⅲ	4通	2				1				
	地盤工学	4通	2						1		
	コンクリート構造学Ⅲ	4通	2			1					
	測量学・測量実習Ⅲ	4通	2				2				
	橋梁工学	4通	2			1					
	環境衛生工学	4通	2			1					
	構造設計製図Ⅰ	4通	2			1					
	建設工学実験Ⅰ	4前	2			1			1		
	応用数学Ⅱ	5前	2								兼1
	鋼構造学	5前	1			1					
	交通工学	5後	1				1				
建設情報化施工	5通	2				1					
専門英語演習	5後	1			4	5		2			
構造設計製図Ⅱ	5通	2			1						
防災工学	5後	1						1			
建設工学実験Ⅱ	5前	2			2	2					
技術者倫理	5後	1				1					
応用創造デザイン	5前	2				2					
都市デザイン 履修コース	都市空間デザイン	4前	1				1				
	都市計画	4後	1				1				
	土木空間デザイン	5前	1				1				
	景観工学	5後	1				1				
	卒業研究(都市デザイン履修コース)	5通	8				4		1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	履修コース 建設設計	道路工学	4前	1				1				
		農業・水産土木概論	4後	1			1					
		海岸・海洋工学	5前	1				1				
		国土・地域計画	5後	1						1		
		卒業研究(建設設計履修コース)	5通	8			4	2				
	グローバル マネジメント 必修科目	Engineering English I	4通	2								兼1
		応用物理特講 I	4通	2								兼3
		応用化学特講 I	4通	2								兼1
		Engineering English II	5通	2								兼1
		応用数学特講	5通	2								兼1
	卒業研究(グローバルマネジメント履修コース)	5通	4			4	5		2		兼1	
	土木計画学 ※		3後		1			1				効果的な教授を行うため、科目を追加
	都市 デザイン 履修コース	画像計測学	4前		2	1 科目 得		1				
		GISリモートセンシング	4後		2					1		
		都市デザイン学外実習 ※	4通		1	※ 土木 計画 学を 含む 4 単 位 を 修 得 い ず れ か の 科 目 の 単 位 を 修 得 い ず れ か の 科 目 の 単 位 を 修 得 い ず れ		1				
		ソフトウェアプログラミング ※	5後		2			1				
		ユニバーサルデザイン ※	5前		1			1				
	VRプレゼンテーション ※	5前		1			1					
建設 設計 履修 コース	耐震工学	4前		2	1 科目 得	1						
	水資源・環境保全工学	4後		2			1					
	建設設計学外実習 ※	4通		1	※ 土木 計画 学を 含む 4 単 位 を 修 得 い ず れ か の 科 目 の 単 位 を 修 得 い ず れ	1						
	環境地盤工学 ※	5後		2					1			
	リサイクル・エネルギー工学 ※	5前		1			1					
維持管理工学(アセットマネジメント) ※	5前		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 グローバルマネジメント履修コース	都市空間デザイン	4前	1				1				必修 必修 必修 必修 効果的な教授を行うため、科目を追加	上段または下段のどちらかか、効果的な教授を行うため、科目を追加
	都市計画	4後	1				1					
	土木空間デザイン	5前	1				1					
	景観工学	5後	1				1					
	都市デザイン学外実習 ※	4通		1			1					
	ユニバーサルデザイン ※	5前		1			1					
	VRプレゼンテーション ※	5前		1			1					
	道路工学	4前	1				1				必修 必修 必修 効果的な教授を行うため、科目を追加	目群を選択し、所定の科目を履修
	農業・水産土木概論	4後	1			1						
	海岸・海洋工学	5前	1				1			1		
	国土・地域計画	5後	1									
	建設設計学外実習 ※	4通		1			1					
	リサイクル・エネルギー工学 ※	5前		1			1					
	維持管理工学(アセットマネジメント) ※	5前		1			1					
技術者教育実践Ⅰ	4通				1	1				一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)		
技術者教育実践Ⅱ	5通				1	1				一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)		
応用物理特講Ⅱ	5通				2	1				一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)		
応用化学特講Ⅱ	5通				2	1				一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)		

2 授業科目の概要

(2) 授業科目数

<社会基盤工学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	※科目の新規設定 【必修】+8（都市空間デザイン、都市計画、土木空間デザイン、景観工学、道路工学、農業・水産土木概論、海岸・海洋工学、国土・地域計画） ※科目の新規設定 【選択】+7（土木計画学、都市デザイン学外実習、ユニバーサルデザイン、VRプレゼンテーション、建設設計学外実習、リサイクル・エネルギー工学、維持管理工学） ※一般科目から専門科目へ変更 【自由】+4（技術者教育実践Ⅰ・Ⅱ、応用物理特講Ⅱ、応用化学特講Ⅱ）
56	12	0	68	64 [+8]	19 [+7]	4 [+4]	87 [+19]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称											備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（A C対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<社会基盤工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	4	0	3	11	4	6	0	1	11	63	0		
(4)	(5)	(0)	(1)	(10)	[]	[+2]	[]	[Δ2]	[]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<社会基盤工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - b 公表方法
- ③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年7月1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高等専門学校名

函館工業高等専門学校

(3) 高等専門学校の位置

〒042-8501
北海道函館市戸倉町14番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次人	人	該当なし

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	倍	倍	該当なし
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A											

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	該当なし
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
5年次	/		/		/		/		
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況 該当なし

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合計	0人	0人					#DIV/0! %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2. 授業科目の概要

<一般科目>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	必修科目	国語総合Ⅰ	1通	2			1					
		国語総合Ⅱ	3前	2				2				
		コミュニケーション日本語Ⅰ	1前	1			1					
		コミュニケーション日本語Ⅱ	2前	1				1				
		現代文	4通	2				1				
		地理	1後	2				1				
		世界史	2前	2			1					
		現代社会	3通	2			1					
		倫理と社会	5後	1			1					
		基礎数学Ⅰ	1前	2				1				
		基礎数学Ⅱ	1後	2			1					
		基礎数学A	1前	1				1				
		基礎数学B	1後	1								兼1
		線形代数Ⅰ	2前	1				1				
		微分積分Ⅰ	2通	4				4				兼1
		線形代数Ⅱ	3前	1				3				
		微分積分Ⅱ	3通	4			1	4				兼1
		化学Ⅰ	1通	2								兼1
		化学ⅡA	2前	1			1					
		化学ⅡB	2後	1								兼1
		物理Ⅰ	2通	3			1	1				
		物理Ⅱ	3通	3								兼1
		理科総合【生物・地学分野】	1通	2			1					
		スポーツ科学Ⅰ	1通	2				1				
		スポーツ科学Ⅱ	2通	2			1					
		スポーツ科学Ⅲ	3通	2			1	1				
		スポーツ科学Ⅳ	4前	1								兼1
		スポーツ科学Ⅴ	5後	1								兼1
		総合英語Ⅰ	1通	2				1				
		コミュニケーション英語Ⅰ	1通	3			1					兼1
		総合英語ⅡA	2前	1				1				
		総合英語ⅡB	2後	1				1				
		コミュニケーション英語Ⅱ	2通	2			1					
		総合英語ⅢA	3前	1				1				
		総合英語ⅢB	3後	1				1				
		コミュニケーション英語Ⅲ	3通	1								兼1
		英語演習ⅠA	4前	1			1					
		英語演習ⅠB	4後	1			1					
		英語演習Ⅱ	5前	1			1					
		芸術	1前	1								兼1
		高専生のコミュニケーション入門	1通	2			1	2				
基礎コミュニケーションⅠ	2前	1			1	2						
基礎コミュニケーションⅡ	3後	1			1	2						
社会人基礎力演習Ⅰ	4通	1			1	2						
社会人基礎力演習Ⅱ	5前	1			1	2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
トグ履修コース 必須科目 メ	小論文	4前	1			1						
	マネジメントⅠ	4後	1				1					
	マネジメントⅡ	5前	1				1					
	哲学	5後	1			1						
	数学特講Ⅴ	4前	1				1					
	数学特講Ⅵ	4前	1				1					
選択科目	文章作成法	4前		1		1						
	古典文学講読	4後		1			1					
	近代文学講読	5後		1		1						
	人間と文明Ⅰ	4前		1		1						
	政治と経済	4後		1		1						
	日本史	4前		1		1						
	人間と文明Ⅱ	5前		1		1						
	人間と文明Ⅲ	5後		1		1						
	数学演習A	4前		1			1					
	数学演習B	4後		1			1					
	数学特講Ⅶ	5前		1		1						
	生命科学概論	4後		1		1						
	物理演習	4前		1			1					
	化学演習	4後		1		1						
	スポーツ科学概論	5前		1		1						
	英語特講A	4前		1			1					
	英語特講B	4後		1			1					
	英語特別演習Ⅰ	5前		1			1					
	英語特別演習Ⅱ	5後		1			1					
	中国語	5通		2			1					
韓国語	5通		2								兼1	
ドイツ語	5通		2		1							
ロシア語	5通		2								兼1	
一般科目	地域貢献	4通 全年次・通			1	1						全年次を対象とするため、 配当年度を変更(H26.4.1)
	数学特講Ⅰ	2前			1	1						
	数学特講Ⅱ	2後			1		1					
	数学特講Ⅲ	3前			1		1					
	数学特講Ⅳ	3後			1		1					
	Global EnglishⅠ	2通			2	1						兼1
	Global EnglishⅡ	3通			2	1						兼1
	コミュニケーション英語特講	4前			1							兼1
	創造英語演習	5後			1							兼1
	海外研修Ⅰ	2通 全年次・通			1	1						全年次を対象とするため、 配当年度を変更(H26.4.1)
	技術者教育実践Ⅰ	4通			1	1						一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)
	応用生物特講Ⅰ	4通			2							兼1
	海外研修Ⅱ	4通			1	1						
必修外選択科目	海外研修Ⅱ(5年次)	5通			1	1						第4学年、第5学年ごとに履修させるため、配当年度を追加(H26.4.1)
	技術者教育実践Ⅱ	5通			1	1						一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	<u>応用物理特講Ⅱ</u>	<u>5通</u>			2	1						一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)
	<u>応用化学特講Ⅱ</u>	<u>5通</u>			2	1						一般科目から専門科目(自由)へ配当を変更(H26.4.1)
	応用生物特講Ⅱ	5前			1	1						
	ボランティア活動	全学年・通			1	1						ボランティア活動を通して、社会に貢献することの意義を理解することを目的として、全学年に科目を配当(H26.4.1)
	特別研修	全学年・通			1	1						学外での研修等に参加し、自己研鑽をつむためを目的として、全学年に科目を配当(H26.4.1)

2 授業科目の概要

(2) 授業科目数

<一般科目>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 51	科目 23	科目 17	科目 91	科目 51 [0]	科目 23 [0]	科目 16 [△1]	科目 90 [△1]	※一般科目から専門科目へ変更 [自由] △4 (技術者教育実践Ⅰ・Ⅱ, 応用物理特講Ⅱ, 応用化学特講Ⅱ) ※科目の新規設定による [自由] +3 (ボランティア活動, 特別研修, 海外研修Ⅱ)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称											備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍					

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（A C対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<一般科目>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
10	15	0	0	25	9	13	0	1	23	63	1		
(9)	(13)	(0)	(1)	(23)	[△1]	[△2]	[]	[+1]	[△2]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<一般科目>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年7月1日)